

屋内熱中症対策などへの追加予算 5億8,698万7,000円

【増額の主なもの】

●4小学校と中学校に空調設置

- ・4小学校の体育館へ8台ずつの空調設置……………1億5,509万円
- ・阿久比中学校アザレアホール6台、武徳館4台の空調設置……………5,430万2,000円

●阿久比中学校軟式野球部、新体操部の全国大会出場の遠征費……………383万円

●鳥インフルエンザ予防対策の補助金……………300万円

反対討論

新美加寿奈 議員

●国民健康保険特別会計補正予算
新たな徴収で低所得世帯に影響

令和8年度より、子ども・子育て支援金分として新たな税金が段階的に上乗せ徴収される。そのシステム改修を行う補正予算で、逆進性のある医療保険を財源とすることに反対。

●後期高齢者医療特別会計補正予算
後期高齢者にも適用で世代間対立あおる

子ども・子育て支援金分を後期高齢者からも徴収するためのシステム改修である。社会保障削減が前提の子育て支援では期待を持ってないため反対。

●阿久比町一般会計歳入歳出決算認定
人権尊重・環境保護に納得いく成果得られず

障がい者施策の遅れ、保育格差、ホタル事業の停滞など課題は多く、平和事業に特段の新規取組もない。リニア負担金は時代遅れであり、滞納整理機構の厳しい取り立てが住民を追い詰めることも懸念し、反対。

●国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
税率上昇、負担軽減を

大府市では、18歳以下の子どもの均等割が一律9割減免となる独自制度を導入している。加入者が減少し続ける今、保険料の負担緩和と併せて、国保事業の社会保障制度としての姿を取り戻すよう求め、反対。

●介護保険特別会計歳入歳出決算認定
基金眠らせず住民に還元を

基金と前年度繰越金を合わせると4億円を超える。厚労省は、年度繰越金や準備基金は本来、加入者に還元するべきものとしている。未使用分は、今、必要としている住民の介護支援や安心につなげるべきだと考え、反対。

●後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
被保険者の6割超が軽減措置制度自体に難あり

被保険者数は国保の被保険者数を上回り、現役世代の負担感が増し、世代間の分断を生んでいる。制度の構造的課題の見直しを求め、反対。